

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	公明党 河野木綿子	1. 社会的孤立を防止するための支援について	<p>(1) コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望書を4月2日、公明党会派と女性の代表の方々と一緒に市長に提出させていただいた。「生理の貧困」は社会問題となっている。本市では、5月に全中学校に生理用品が配布されたが、今後の連携支援拡大や継続的支援の考えは。</p> <p>(2) コロナ禍で子どもたちの孤独孤立の防止が社会問題となっており、子どもの居場所の確保が必要である。国が子供未来応援交付金で「つながりの場づくり緊急支援事業」を実施している。子ども食堂等のフードパントリー活動に対して1箇所あたり125万円の委託金を交付出来る。また自治体負担は、新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金も活用することで軽減される。これを活用し居場所の確保を推進する考えは。</p>
		2. 新型コロナウイルス感染症の影響下での支援策について	<p>4月2日公明党会派で新型コロナウイルス感染症の影響下での支援を求める緊急要望書を提出させていただいた。今後の市民生活を支援する本市独自の支援策の考えは。</p>
		3. 奨学金返済支援について	<p>コロナ禍で多くの若者から奨学金の返済支援を求める声が寄せられている。本市の青年の皆さんから声取りを実施したが、就職後の奨学金返済に苦労した等の声をいただいた。公明党では積極的に国に要望し、奨学金返済支援制度が拡充した。総務省では、特に対象者の奨学金返済支援に係わる市町村負担額の10分の10を特別交付税措置とする拡充が出来た。本市は現在、企業誘致を積極的に推進しているところだ。そこで、働き手である若者のIターンやUターンの方々への支援につながる奨学金返済支援事業を実施する考えは。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	公明党 河野木綿子	4. 遺族の負担を軽くするための （仮称）「おくやみ窓口」の設置について	<p>昨年の3月議会で、（仮称）「おくやみ窓口」の設置を求めたが、一覧表の充実を図るが、今のところ考えはないとの答弁だった。そこで、再度、設置への検討を求めたところだった。議会発言後、何人もの方から、「おくやみ窓口」の設置を実現して欲しい、との声をいただいた。</p> <p>家族が亡くなった後、遺族が行う手続きが煩雑で、個人の年金や保険の加入状況など多岐にわたることから「おくやみ窓口」があることで、遺族は安心して対応出来る。更なる市民サービスの向上が図れると思うが、本市の設置への考えは。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	南風 櫻田 力	1. 南アルプス12ha 及び南アルプス IC周辺整備事業 について	<p>(1) 南アルプス12ha整備事業については、長年の課題解決という反面で、新たなまちづくりに向けた開発に対する市民の期待も大きいと受止めている。新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢を鑑みての公募延期から1年が経過した今、市長説明要旨に秋頃の公募開始に向けて準備が進められていることが示された。今後の社会情勢の変化や本事業を取り巻く環境を見る中で、本事業の推進に向けて大きな決断をしたと思われるが、決断の根拠と現時点の方針を踏まえた企業選定までの流れは。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさの中で、景気は持ち直しに弱さがみられ、先行きについては感染症の動向に対する懸念が強まっており、企業の投資マインドも低下している状況にある。このような社会情勢の中で、企業側の応募に向けた課題もあると思われるが、秋頃の公募に向けての現時点での企業動向は。</p> <p>(3) 南アルプスIC周辺整備事業は、新たな雇用の創出や地域経済を牽引する産業の集積を図り、交通環境を活かした新産業拠点の創出を目指している。令和2年度には用地の現況と開発可能性に関する調査が計画されていたが、その実績と今後の事業の進め方は。</p>
		2. 学校における働き方改革について	<p>社会の変化に伴い学校が抱える課題が複雑化・多様化する中で、近年、教師の長時間勤務が看過できない事態にあることが明らかになっており、このような状況の解消と新学習指導要領の円滑な実施のため「学校における働き方改革」が進められているが、本市における「働き方改革」はどのような視点でどのように進められているのか。また、その取り組みの実効性の検証状況は。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	未来創政の会 矢崎俊秀	1. 本市の観光政策について	<p>(1) 山梨県が策定した「南アルプス観光振興ビジョン」を市はどのように評価し活用するのか。</p> <p>(2) 本市の観光政策の進むべき方向性についてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 本市は合併当初の平成17年度に「南アルプス市観光計画」を策定し、そして、翌年の平成18年度に「魅力ある観光地づくり行動計画」を策定しているが、どのように活用し、その成果はどのようにあったのか。</p> <p>(4) 本市はインバウンド観光を視野にしているが、本市を訪れている外国の方々は年間どれほどの観光客数にあるのか。</p> <p>(5) エコパ伊奈ヶ湖基本方針策定事業が3月議会において否決されたが、観光振興を図る観点から、今後どのように再構築するのか。</p>
		2. 本市の企業誘致政策について	本市の企業誘致に関するビジョンは。

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>1. 新型コロナウイルス対策について</p> <p>2. 農業や福祉を重視したまちづくりについて</p>	<p>(1) 市内高齢者施設でのクラスター発生や保育所での園児の感染は、新型コロナウイルス感染症の怖さを再認識させた。市としてクラスターを発生させないための対策強化が必要と考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) 高齢者や子どもたちを「体を張って」支えているケア労働者が、いかに大変な状況にあるかも明らかになる中で、ケア労働者を支えるために、慰労金の支給があらためて必要と考えるが、市の所見は。</p> <p>(3) 新型コロナ対策の財源について、国からの交付金などもあったが、市としては独自策や緊急対応のために、財政調整基金を活用した。今後、感染症や大規模災害を見据え、基金や予備費などの財政運営の見直しは必要と考えているか。</p> <p>昨年の市議会6月定例会での代表質問で、南アルプスIC新産業拠点整備事業について、農業や障がい者雇用の視点での活用を提案し、会派で視察した社会福祉法人の活動事例を紹介したことに対して、「もしやるとすれば、もうちょっと違った場所を選んで実行してもいい事業」との認識が答弁された。近年、全国的にも様々な実践が進んでいることから、本市としても事業化に向けた取り組みが必要と考えるが、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 村松三千雄	1. 移住・定住人口の拡大に向けた取り組みについて	<p>昨今、「田園回帰」という流れがあると言われている。国土交通省の資料、及び総務省が平成28年度に行った「田園回帰」に関する調査研究によると、過疎地域における人口移動について、若い世代で地方への移住の動きがみられ、内閣府による「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」（平成26年度）においても、約4割の人が移住を希望する旨の意向が示されている。</p> <p>また、NPO法人ふるさと回帰支援センターへの相談件数は、平成26年から平成28年にかけて倍増しており、特に20歳代から30歳代の相談件数の増加が、顕著だという実態もある。これを踏まえて。</p> <p>(1) 自然資源をはじめとした、この地域の持つ魅力を存分に活かして、多くの方に住んでいただけるように移住・定住促進事業を実施していくとしているが、具体的な事業の内容は。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住・二拠点居住、サテライトオフィス等が注目されている。また、山梨県では、今年度より首都圏との二拠点居住を推進することを強く打ち出すため、地域創生・人口対策課を「二拠点居住推進課」に再編した。また、本市でも今年度、新たに設置した「ふるさと振興室」に、移住・定住、空き家バンクに関する業務を移管し、空き家の登録・情報提供を行い、定住・移住・二拠点居住を促進して地域の活性化を図るとしているが、二拠点居住事業の具体策は。</p> <p>(3) 南アルプスクラインガルテンは、二拠点居住の推進を図っていくためには、重要な取り組みである。そこで、クラインガルテン利用者の定住状況と、クラインガルテンと連携した新規就農を促す取り組みを充実させることが必要と考えるが、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 村松三千雄	2. 農業振興における農業担い手の確保と育成について	<p>(1) 南アルプス市総合計画後期基本計画では、農業の担い手不足を解消するため、新規就農や老朽化が進む農業施設の更新などに対する効果的な支援を行っていく必要があるとしているが、市内で新たな農業を志す人や次代を担う農業後継者を確保するための支援の具体策は。</p> <p>(2) 全国農業会議所が行った「新規就農者の就農実態に関する調査」（平成29年3月公表）によると、新規参加者が就農時に苦労したことの理由に、「農地の確保」「住宅の確保」「地域の選択」を挙げている。本市の空き家バンクのホームページに「農地付き空き家」の情報提供メニューを設けることにより、新規就農を目的とする移住者等に検索の利便性やマッチングの可能性が高まると考えるが、市の所見は。</p> <p>(3) 今、世界では家族だけで営むような小規模な農業に注目が集まっている。2017年末の国連総会で、2019～2028年を「家族農業の10年」とすることで採択され、大規模企業的農業から小規模家族農業が営む「地球環境にやさしい農業」への転換を目指している。しかし、日本ではほとんど報道されておらず、一般市民はもとより農業関係者の間でも周知していない状況であるが、市は「家族農業」について、どのように認識しているのか、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	躍進会 北村千代子	1. 地域支えあい協議体の事業について	<p>(1) 平成27年、介護保険法の改正に伴い、国の事業として「生活支援体制整備事業」が始まり、本市においては「地域支えあい協議体」として平成28年12月から第1層の市全体の組織が立ち上がり、現在は第2層の小校区、そして自治会圏域ごとに第3層の活動が始まっているが、現在、本市における地域支えあい協議体の設立の経緯と活動状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 第3層の活動の中の居場所づくりについて、まず、顔見知りになって悩みや困りごとが自然に話せる環境づくりが大切と考え、地域で集まっているが、足腰が悪くて会場まで行けないという高齢者がいる。送迎について検討中であるが解決に至っていない。どこの自治会でも問題になっていると考えるが、市の考えは。</p> <p>(3) 第3層協議体の活動内容は地域に任されている。介護保険の対象にならない細やかな生活支援をこれら協議体が住民主体的に取り組んでいる。この第3層協議体が行う生活支援の内容について、住民はどこまでやるのが良いのか、住民と行政の役割分担を明確にしておくことが事業推進の上で必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>(4) 第3層協議体の活動は、趣旨に賛同して活動していきたいという方々が中心になっている。活動を継続し、充実させていくためには、地域全体に支えあいの輪を広げていく必要があると考えるが、個人の意思に頼る活動だけでは中断してしまう心配もある。今後5年、10年後の地域づくりを見据え、協議体の進め方を市ではどのように考えているのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	<p>躍進会 北村千代子</p>		<p>(5) この事業は、南アルプス市総合計画の下、「高齢者いきいきプラン」、「地域福祉計画」に明記されている。また、社会福祉協議会が策定している「地域福祉活動計画」の中にも、中長期の施策として位置づけられている。今後、高齢化が進む市民の生活全般の支援体制として、社協との連携強化が必要と考えるが、市の考えは。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	公明党 小池伸吾	1. 防災・減災対策 について	<p>(1) 改正災害対策基本法が5月20日に施行された。今回の改正により、避難情報の名称が改正された。市民への周知徹底と、広報活動の強化が必要と思うが、市の対応は。</p> <p>(2) 同じく、改正法により、避難行動要支援者の個別避難計画の策定が、市町村の努力義務となったが、本市での策定状況は。</p> <p>(3) 個別避難計画について、また運用に関して、現状考えられる課題はあるか。</p> <p>(4) 現状のコロナ禍において大規模災害が発生した場合、避難所の状況によっては、収容人数を超えてしまう懸念がある。市では、エリアメール等で必要な開設避難所を示す。防災行政無線、消防団の広報等により重ねて周知する。また、JAや商工会との協定で、施設の提供を受けている。としているが、市民に対してより具体的でわかりやすい避難所の情報発信や誘導方法を考えているか。</p> <p>(5) 地域防災力強化の観点から「気象防災アドバイザー」の設置を考えているか。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	南風 藤田亜由未	1. 住みたい・子育てしたくなる「まち」の実現について	本市では子育てしやすい環境づくりのため、妊娠・出産・産後の支援や、子育て支援の充実に向けさまざまな取り組みが行われているが、現代社会の中で女性が活躍できる環境を整えるために本市が行う具体的な取り組みは。
		2. GIGAスクールの進捗状況について	(1) 4月からスタートしたGIGAスクールの取り組みについて、実際に始めてみての状況や新たな課題点についての対応は、どのように考えるか。
			(2) タブレット端末の持ち帰りが、今年9月以降と伺っているが 具体的な家庭学習での活用方法は。 また、併せて学校に行かない・行けない子どもたちへのタブレット端末の活用方法の準備についての進捗状況は。

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	日本共産党 南アルプス市議団 松野昇平	1. 公用車両について	第3次南アルプス市地球温暖化対策実行計画では、市の保有する公用車両の台数を減らす方針が示されている。いかに具体化していくか、市の見解は。
		2. 公園整備について	(1) 近年、夏場の平均気温が上昇している。また、市では、ウォーキングを推奨するなどの健康事業に精力的だが、日陰で休養する場所が公園内に十分に確保されていない状況がある。熱中症対策や快適性のために、いかに整備をしていくのか。
			(2) 昨今、広がりを見せるニュースポーツだが、練習場所が足りていないという課題がある。以前、議会質問でスケートボードパークの設置を求めた際に、市からは、「研究をしていく」という回答があった。その後の進捗は。
			(3) 障がいのある子もない子と一緒に遊べる遊具を設置したインクルーシブ公園。実証実験での結果を踏まえ、全国の自治体でも導入に向けた検討を進めている。市でも導入に向けた検討をするべきと考えるが、市の所見は。
3. 道路整備について	(1) 道路面の凹凸や、ひび割れ等老朽化が進んでいる身近な生活道路の維持・管理について、市の所見は。		
	(2) 高尾街道（楡形9号線）の倉庫町交差点付近では、道路の老朽化が進み、救急車両の通行もあることから、早急な修繕工事が必要と考えるが、市の所見は。		

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	新政南アルプス 三木 充	1. 安全で美味しい水道水の安定供給のために	<p>(1) 本市の水道事業において、いくつもの水源地があるが、その水質は勿論定期的に調べていると思うが、どの程度の頻度か。また、水質検査の内容は。</p> <p>(2) 合併以前の水道水の供給管路体系であるが、旧町村時代においてもそれぞれの町村に複数の水源地があった。1つの水源地が1つの供給エリアを形成していると思うが、リスク分散のための管路のループ化を進めているか。</p> <p>(3) 水道管に石綿管の使用部分が残っていると聞いている。随時更新していると聞くが、どの程度進捗しているか。</p>
		2. 高齢者・身体障がい者のごみ収集場所への搬入について	<p>本市において、家庭ごみ運搬支援事業はあるが、もう少し身近な毎日出る可燃ごみの、地域指定の収集場所への持ち込みさえもできないでいる高齢者や障がい者の方々がいるときいている。地域の中で、ご近所づきあいの中で・・・とも考えがちであるが、行政が何とか手を差し伸べられないものか・・・と考える。</p> <p>以前、同じ会派の村松議員が、「高齢者や障がい者などの資源回収センターや地域収集場所までの搬入が困難な方の対応について」の質問で市長は、「超高齢化社会を迎えその対応策として、支援対象者や対象品目を拡大するなど、支援内容について再検討をしている。さらに関係部局とも連携を図りながら、困窮者への支援に努める。」と答弁しているが、どのように検討したのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	新政南アルプス 飯野多恵子	1. 地域共生社会づくりへの取り組みについて	<p>(1) 昨年度示された第4次地域福祉計画では、市内に住むすべての人が、ここに住んでよかった、生まれてよかったと思えるよう、各保健福祉分野の計画との連携を考え、国が示す“地域共生社会”を目指して進められている。 本市は国の示す地域共生社会づくりを先行して進めているように思うが、市の具体的な取り組みは。</p> <p>(2) 住民が抱える相談内容は、一つの部署で対応できていたものから、いわゆる8050問題や最近話題となっているヤングケアラーなど、複数の部署がかかわらなければ解決できない事例も出ていると思うが、具体的にどのような事例に、どのような対応をしているのか。</p> <p>(3) 本年4月19日の山日新聞に、ひきこもりや貧困といった複合的な課題に、自治体が一括して対応できるよう4月から新設された事業に全国で285の自治体が手を挙げ、県内では甲州市がひきこもりの支援体制を強化するとあった。この重層的支援体制整備事業は、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施するというもので、これまでの所管ごとのサービス事業から、複合的に一体的に対応する支援事業は必要と考える。この事業について、市の考えは。</p> <p>(4) この事業の中に地域づくりに向けた支援として、世代や属性を越えて交流できる場や居場所の確保がある。誰でも気軽に行ける場所があることは必要と考えるが、サロンや認知症カフェなど既存の居場所は対象や地区が限定されるものもある。 地域や世代を越えて利用できる一体的な居場所づくりに向けては、本市として基本的な考え方やガイドラインなどを示すことも必要と考えるが、市の考えは。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	新政南アルプス 飯野多恵子		(5) 地域づくりに向けた支援では住民が主体的にかかわることが期待され、そのための交流・参加・学びの機会のコーディネートなどが求められている。地域の支えあいの担い手を広げたり、活動している人たちのネットワークを作ったりする方策について、市の考えは。

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 2	新政南アルプス 保坂 健	1. 結婚相談員活動の積極的PRについて	<p>本市では結婚相談員設置要綱を策定し、未婚化及び晩婚化の改善を図り、少子化対策に寄与するため結婚相談員を置くこと規定している。</p> <p>本市の人口の推移は平成22年から令和2年にかけての10年間でおよそ1,500人減少となっており今後もさらなる減少の可能性が推測されている。</p> <p>このような現象の進行は地域経済の縮小要因となり、市の活力低下をもたらす深刻な状況と考えられる。</p> <p>さらに未婚化の増加は、家の存続にもかかわり、空き家や耕作放棄地の大きな、一因とも考えられるところである。</p> <p>これらの問題対処に結婚相談員活動の果たす役割は、非常に大きなものと期待される場所であるが、今後の、この活動のさらなるPRについて、どのように考えているか。</p>
		2. 内部統制への取り組みについて	(1) 行政に対する市民からの信頼を失墜させないために、どのような視点に立って、取り組んでいく考えであるか。
			(2) PLAN→DO→CHECK→ACTIONをどのように実践していく考えであるか。

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	躍進会 花輪幸長	1. 防災対応強化を 目的に耐震性貯 水槽の設置につ いて	<p>(1) 南海トラフ地震発生が予想される中、フォッサマグナ上の本市内は大きな被害が想定される。新規住宅開発地区は、市の指導により消火栓の設置が主力ですが、大規模地震発生時には水道管破裂が危惧され、飲料水確保・消火活動の円滑化を目的に一定の基準の下、耐震性貯水槽の設置を促進すべきと思うが、市の考えは。</p>
			<p>(2) 高尾地区の文化財「穂見神社」は、消火栓2基と主要文化財と離れた境内入口に40トン耐震性貯水槽が設置されている。標高が高く消火栓の水圧低下があり、火災発生時の水量確保に危機感を募らせている。また、山火事の発生も当然予想されることから設置基準外であるが、主要文化財に近い境内上部に耐震性貯水槽の増設をすべきと思うが、市の考えは。</p>
		2. 資源回収セン ターの設置につ いて	<p>藤田・浅原地区の住宅新築は相変わらず増加傾向にあり、資源再利用への要望、環境確保の観点から回収センター設置の要望も強く出されている。新しい回収センター設置に向けての市の考えは。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第2回定例会（6月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	小林敏徳	1. 市長の発言について	3月の定例議会の中で、市長は答弁の撤回を行った。撤回した内容は、公職選挙法に抵触する可能性がある事から、何で撤回したのか、市長の考えは。
		2. 市役所東別館について	商工会から購入した東別館は、今どのように活用しているのか。